

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策Ⅲ-3-3 国際化と多文化共生の推進
---------	-------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	文化国際課長 日下 純子	電話番号	0852-22-6006
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	北東アジア地域との交流		
目的	(1) 対象	県民、北東アジア地域住民	
	(2) 意図	北東アジア地域への関心を高め、相互理解と交流を拡大する。	
事業概要	北東アジア地域自治体の文化交流に寄与するため、北東アジア地域の伝統文化、芸能の公演・交流活動を行い、北東アジア地域の相互交流とネットワークづくりを推進する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	交流件数（回数）	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	回
	式・定義	県が関与する北東アジア地域との交流事業における交流件数の合計	実績値	1.0	2.0			
			達成率	33.4	100.0	-	-	%
2	指標名		目標値					
	式・定義		取組目標値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	5,564	4,000
うち一般財源 (千円)	2,937	2,000

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成28年は、島根県とロシア連邦沿海地方が友好交流の覚書に締結して25周年となる記念の年であり、ロシア連邦国立極東芸術大学の教授等による民族音楽グループ及び同大学演劇学部学生による演劇グループが来日した。音楽グループは松江市内でコンサートを開催（来場者数350名余）。併せて、高校の吹奏楽部との交流及び文化体験を行った。演劇グループは、浜田市で開催された石見演劇フェスティバルにゲスト出演した（来場者数800名余）。併せて、同フェスティバル参加団体との交流会参加、江津市内のロシア人墓地向けの献花及び文化体験を行った。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

島根県・ロシア連邦沿海地方友好交流25周年という記念の年に、ロシア民族音楽及びロシア演劇を県民に紹介し、また各訪問団の学校訪問、交流会参加等によって、両地域の相互理解、友好親善を深めることができた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

県内において北東アジア地域の伝統文化、芸能の公演・交流活動に触れる機会があることは、県民の北東アジア地域への理解促進に寄与しているが、県民主体による自発的な国際交流活動への拡がりを見せるに至る事例は必ずしも多くない。

②困っている状況が発生している「原因」

公演・交流活動を通じて他国の文化に興味・関心を抱いた県民が、実際に国際交流活動に参画する仕組みづくりができていない。

③原因を解消するための「課題」

多くの県民が気軽に触れることができる公演・交流活動の機会は、県民にとって異文化理解や国際交流の入口と位置付け、県が実施する他の国際交流事業PRの場としても活用するなど、県民の交流意欲を増進させていく必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

多様な文化に触れることで県民の国際感覚は養われ、また、住民主体の身近な交流・協力を通じて相互理解の深まりが期待される。県民の国際交流活動に対する関心を一層高めるためにも、県民が地理的、歴史的つながりの深い北東アジア地域の伝統文化・芸能に触れる機会の提供を、今後も定期的に進めていく。